

令和
8
年度

いよばのちまり 4



愛知教育文化振興会
三河教育研究会

みなさん、
いっしょに ペンきょう
しましょうね。



ことばのきまり
イメージキャラクター
ことちゃん

目次

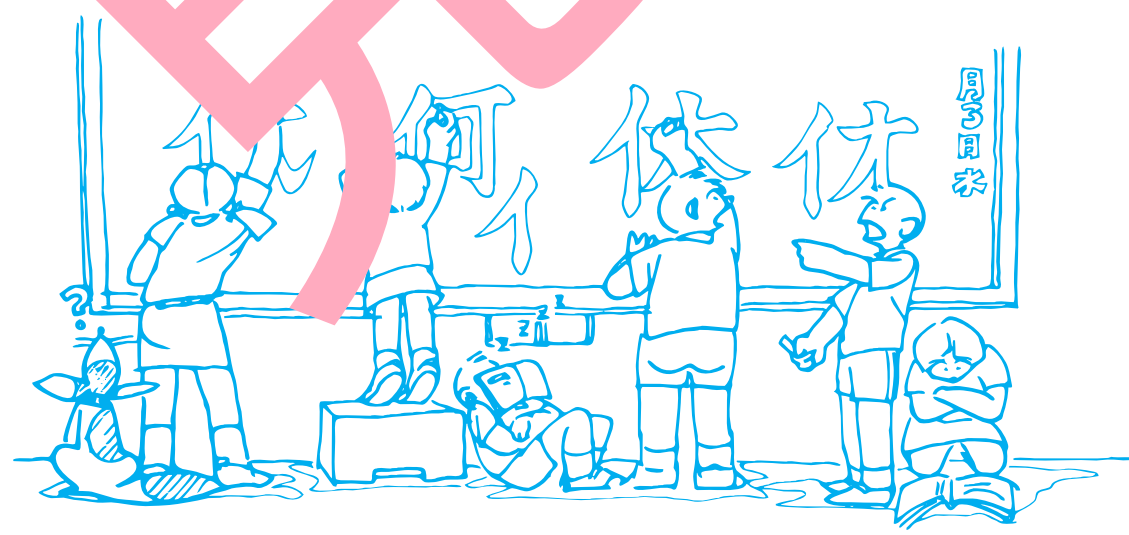
一	漢字辞典の使い方	1
二	ことわざ・慣用語を使う	6
三	文の組み立てと修飾	9
四	つなぐ言葉	15
五	じゆく語の意味	21
六	百人一首に親しもう	25
七	同じ読み方の漢字	31
八	かなづかい	33
九	文末の言い方	34
十	伝わりやすい文	37
十一	ローマ字の書き方	37

表紙 岡崎

カット

豊刈幸
橋谷田

浅井 俊子先生
成田 佐子先生
嶋田 佐子先生
大須賀 貞治先生
中村 僚志先生
河合 桂子先生
地宗 雄志先生



月3円



一 漢字辞典の使い方

漢字辞典を使うと、次のよう
なことが分かります。

- ① 漢字の読み方
- ② 筆順
- ③ 成り立ち
- ④ 意味
- ⑤ 総画数
- ⑥ 部首・画数
- ⑦ 調べた漢字が一字目にくる言葉とその意味
- ⑧ 調べた漢字が二字目にくる言葉の例

⑥ 部首・画数

この字の部首は「さんずい」。部首さくいで引くと「水の水」になります。総画数から部首の画数をのぞいた画数が「6画」になります。

⑤ 総画数

この漢字の総画数は9画です。

漢字「海」の辞典ページの一部。部首「さんずい」(水)と画数「6画」が示されています。総画数「9画」も示されています。読み方「み かい」が示されています。成り立ち「① 海。② 広く大きな水。③ 海女(かいよう)」。意味「① 海。② 広く大きな水。③ 海女(かいよう)」。例「海洋(かいよう)」。④ 海女(かいよう)」。⑤ 海女(かいよう)」。⑥ 海女(かいよう)」。⑦ 海女(かいよう)」。⑧ 海女(かいよう)」。⑨ 海女(かいよう)」。⑩ 海女(かいよう)」。⑪ 海女(かいよう)」。⑫ 海女(かいよう)」。⑬ 海女(かいよう)」。⑭ 海女(かいよう)」。⑮ 海女(かいよう)」。⑯ 海女(かいよう)」。⑰ 海女(かいよう)」。⑱ 海女(かいよう)」。⑲ 海女(かいよう)」。⑳ 海女(かいよう)」。㉑ 海女(かいよう)」。㉒ 海女(かいよう)」。㉓ 海女(かいよう)」。㉔ 海女(かいよう)」。㉕ 海女(かいよう)」。㉖ 海女(かいよう)」。㉗ 海女(かいよう)」。㉘ 海女(かいよう)」。㉙ 海女(かいよう)」。㉚ 海女(かいよう)」。㉛ 海女(かいよう)」。㉜ 海女(かいよう)」。㉝ 海女(かいよう)」。㉞ 海女(かいよう)」。㉟ 海女(かいよう)」。㊱ 海女(かいよう)」。㊲ 海女(かいよう)」。㊳ 海女(かいよう)」。㊴ 海女(かいよう)」。㊵ 海女(かいよう)」。㊶ 海女(かいよう)」。㊷ 海女(かいよう)」。㊸ 海女(かいよう)」。㊹ 海女(かいよう)」。㊺ 海女(かいよう)」。㊻ 海女(かいよう)」。㊼ 海女(かいよう)」。㊽ 海女(かいよう)」。㊾ 海女(かいよう)」。㊿ 海女(かいよう)」。

⑧ 調べた漢字が2字目にくる言葉の例

⑦ 調べた漢字が1字目にくる言葉とその意味

④ 意味

一つの漢字でも意味は、いくつかあることがあります。似ている言葉が書かれていることもあります。

③ 成り立ち

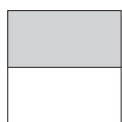
この漢字がどうやってできたかが分かります。

② 筆順

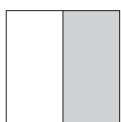
① 読み方

音読みと訓読みが分かります。音読みはかなで、訓読みはひらがなでしめされます。

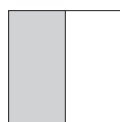
(一) 次の漢字の部首の名前を調べて書きましょう。



かんむり



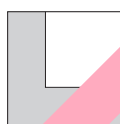
つくり



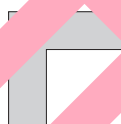
へん

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
答	家	薬	歌	数	記	続	泣	伝	
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

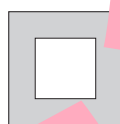
() () () () () () () () () ()



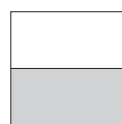
う



れ



ん



あ
し

18	17	15	14	13	12	11
起	週	原	開	国	意	点
()	()	()	()	()	()	()

() () () () () () ()





「部首さく引」で漢字を調べよう。

① 漢字の部首を見つけます。

② 部首の画数^{かくすう}を調べます。

③ 部首さく引のその部首の画数^{かくすう}の所から部首をさがし、そのページへ

④ 同じ部首の漢字は、画数^{かくすう}の

部首以外の画数^{かくすう}を調べて、その字をさがします。

その漢字がそのまま部首になっていることもあります。
(例^{れい} 欠・血・文)

見てみよう



「漢字辞典^{じてん}の使い方」



(二) 漢字辞典^{じてん}を使って「作」を調べましょう。

漢字の部首は

部首の画数^{かくすう}は

 画

部首さく引のその部首の画数^{かくすう}の所から部首をさがします。

4 部首以外の画数^{かくすう}は

 画

その字をさがします。

5 調べて書きましょう。

読み方

「立ち」

味

「作」が使われている言葉





「音訓くんさく引」で漢字を調べましょう。
音訓くんさく引では、漢字の読みが
なで書かれています。

調べたい漢字の音読みや訓読くんみ
分くれば、音訓くんさく引を使ってさがすことができます。

(三)

音訓くんさく引を使って次の漢字を調べま

例 れい		漢字	部首	総画数	音読み	訓読み	使われている言葉
階教			のぶん ぼくづくり		音キヨウ	訓み	教育 教室



「総画そうかくさく引」で漢字を調べましよう。
一つの漢字の画数かくすうを全て数えたものを総画数とま

いれば、総画そうかくさく引を使ってさがすことができま
す。部首が分か
ても総画数が分かって

(四)

総画そうかくさく引を使って次の漢字を調べましよう。

漢字	部首	総画数	音読み	訓読み	使われている言葉
細					





漢字辞典^{じてん}で漢字を調べるとき

自分にとって分かりやすい引き方で引くとよいでしょう。

① 部首が分かるとき



部首

② 読み方が分かるとき



読み方

③ 画数が分かるとき



画数

自分が調べたい漢字について、知っている情報^{じょうほう}の条件^{じょうけん}に合わせて三つの引き方を使い分けられるようにしましょう。

(五)

今までに学習した漢字の引き方を使い、今に習った漢字を調べてみましょう。

- ① 部首さく引を使って調べる。 ② 読み方さく引を使って調べる。 ③ 総画^{そうかく}さく引を使って調べる。

漢字		部首		読み方		総画		使われている言葉		調べ方
熱	れいか れんが	十五画	音 ネツ	熱心 熱中 熱血	①					
神			訓 カム							
登			音 トウ							
重			訓 オモシ							





二 ことわざ・故事成語、慣習

① 「あれ、今日はみんなと出か
「うん、でも、ねぼうしちゃ
② 「友だちにもらったくじで、
「まさに『たななばたもた
『あとの祭り』『たななばた
章の中で数多く使われてい
していく上で欠かせないち
『あとの祭り』『たななばた
のような言葉をことわざと言
に言い伝えられた言葉で、わ
たしたちが生活

(一) いた意味を表すことわざを調べて結びましょう。

- 1 ひょうたんからこま
- 2 石橋をたたいてわたる
- 3 のれんにうでおし
- 4 せいては事をしそんじる

(二) 次の意味を表すことわざをから選んで記号を

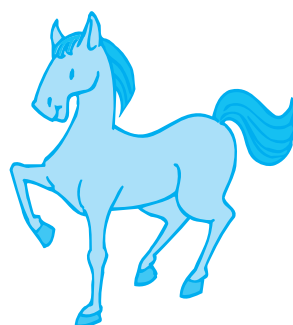
- 1 事前に注意しておけば、失敗しなすむこと
- 2 自分がしたあやまちがもとで、自分にふりかかったさい
- 3 いきおいがとともさかんな様子
- 4 少しばかりのえん助や努力では、全くききめがないこと

ア 飛ぶ鳥を落とす
イ 転ばぬ先のつえ
ウ 焼け石に水
エ 身から出たさび



(三) 次のことわざは、どんな意味の言葉になっているでしょうか。また、にた意味のことわざには、どんなものがあるでしょうか。調べて書きま

かつばの川流れ (意味)		(にた意味のことわざ) ○ ○
の耳に念仏 (意味)		(にた意味のことわざ) ○ ○



参考にしよう

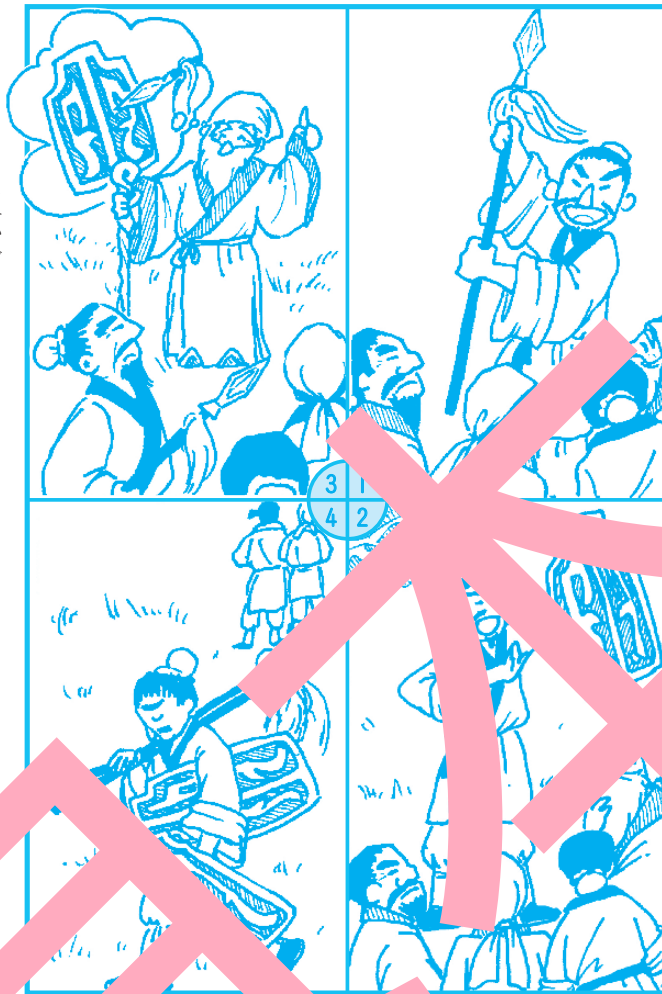


「ことわざ・慣用句の百科事典」





わたしたちがふだん使っている言葉には、昔の中国の話がもとになってできた言葉があります。それは、歴史上の事実やたとえ話をもとになっていて、**故事成語**と言います。



矛盾

【もとになった話】

昔、矛と盾を売っている商人が、自分の矛は何でもつき通せるし、盾はどんな矛でもふせぐことができる。そこで、話を聞いていた人が、矛の矛でその盾をついたらどうなるかとたずねた。商人は答えることができなかった。

(四) 次の故事成語は、どんな意味でしょう。調べて書きましょう。

1 推敲

2 背水の陣

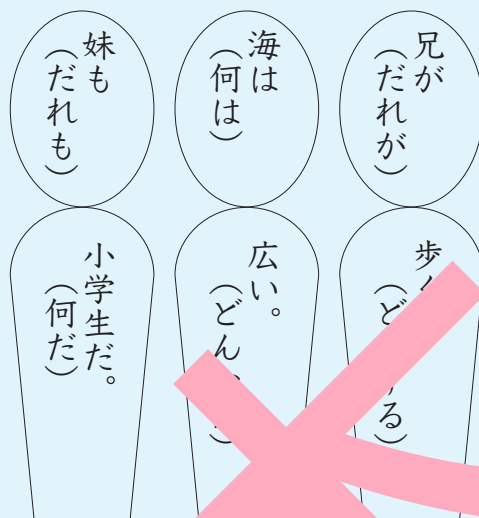
3 蛇足





三 文の組み立てと修飾

文には、「あたま」と「からだ」にあたる部分があります。



文の「あたま」

(だれが) (何は) (だれも) に

あたる部分を**主語**といいます。

文の「からだ」

(どうする) (どんなだ) (何だ)

にあたる部分を**述語**といいます。



と**述語**を見つけましょう。

主語は——を、**述語**には——を引きましょう。

美しい 夕日、海 しずむ。

述語は「しずむ」と、**主語**は「夕日、海」のすぐ上にあります。

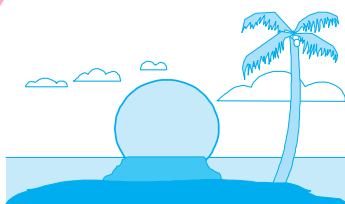
また、「しずむ」が**述語**ということが分かりますね。

主語は「夕日、海」が「しずむ」が分かりますね。

述語から考えて、「しずむ」が**述語**、「夕日、海」が**主語**をさがすと**主語**を見

つけることができます。「しずむ」の**主語**が何かをさがすと、

「夕日」が**主語**、「しずむ」が**述語**に分かりますね。



(一) 例のように、主語には――――――――――述語には――――――――――を引きましょう。

〔例〕 白い花が花だんにさい。

1 大つぶの雨がとつぜんふって

2 おばあさんがわたしをいへばいへばいへた。

3 わたしの町のお祭りは、いつもにぎやかだ。

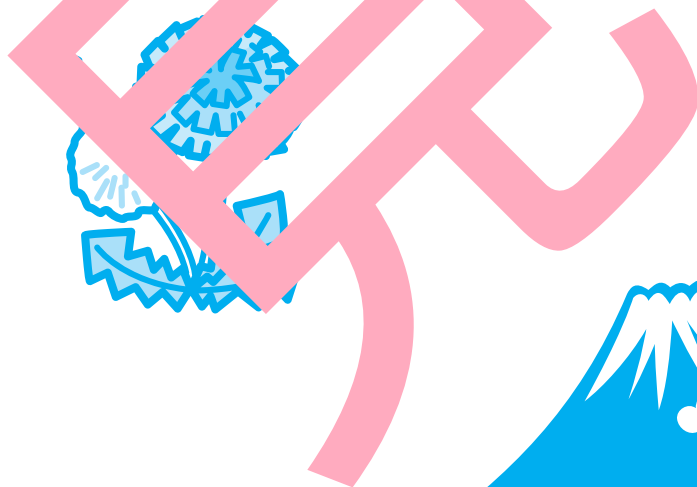
4 ぼくの持っている筆箱は新しい。

5 教室には、つくえがたくさんある。

6 おりの中に大きなライオンがいた。

7 タンポポは とても じょうぶな植物だ。

8 日本でいちばん高い山は、ふじ山です。





述語

① 火事だ。

② 今、算数の本をわすれました。

述語

このように、文の中には主語がないものもあります。①の文は、「家が 火事だ。」の主語を省りやくしたと考えることができます。また、②の文は、「わたしは、今日、算数の本を わすれました。」の主語を省りやくし、考えることができません。主語を省りやくするときは、

(二)

の述語に対する主語を省りやくして、主語に「を」を省略しよう。

文の中に主語がないときは、省りやくされている主語を「から選ぶ」の中に記号で書きましょう。

1 公園で 子ねこを 拾った。

2 ぼくは この ゲームを 買ったよ。

3 つくえから 落ちて われました。

4 学級の 係を 決める 日です。

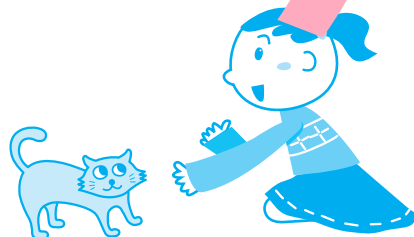
5 風で たくさん まい落ちる。

ウ

ア

友達

ニップが





きみの 弟は かわいい。

ぼくは 友と 遊んだ。

とても ゆかいな 人だ。

「きみの」「友」「とて」「あ」「い」のように、文の中で使われることによって様子をくわしく表したり、動をくわしく表したりする言葉を修飾語と言います。

(三)

次の文の

を修飾している部分

の中から選んで書きましょ

1 わたしは、ひとりで

() 立っ

2 () 日ざしが、大地にふり

3 かん者さんの中には、 () 出する

4 タ立が () ふった。

5 () 音楽がへやの中に流れている。

高い
あたたかい
楽しげな
さびしく
はげしく

(四) 次の文の~~~~が修飾(しゅうしよく)している分(ぶん)をさがして~~~~を引(ひ)き、~~~~で示(し)しましょう。

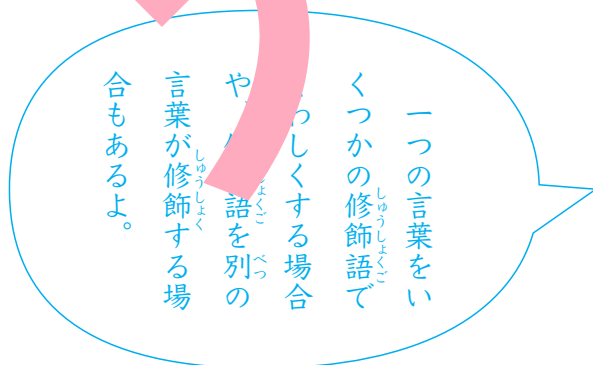
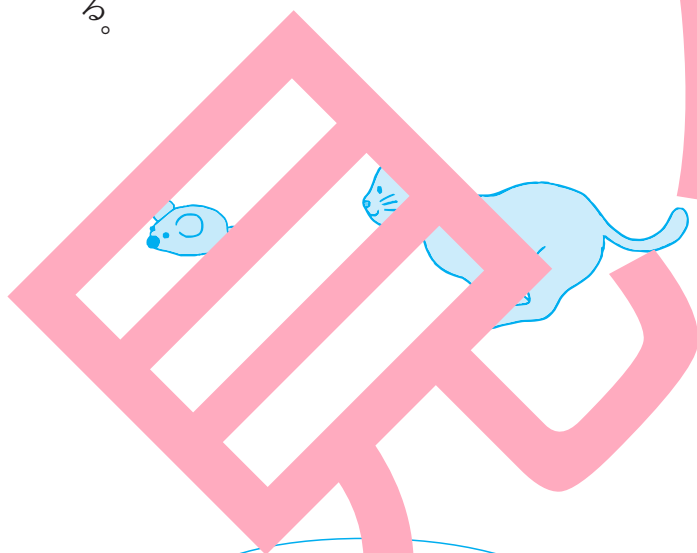
《例(れい)》わたしは、新しい言葉(ことば)を~~~~
~~~~くさん~~~~  
~~~~た。

1 ねこがねずみを追(お)う。

2 にぎやかな町(まち)が静(しず)かになった。

3 姉(あね)は、中学校(ちゅうがっこう)を卒業(そつぎょう)した。

4 青(あお)い空(そら)に白(しろ)い雲(うみ)がかんている。



一つの言葉(ことば)をい
くつかの修飾語(しゅうしよくご)で
つくる場合(ばいあひ)
や~~~~語(ご)を別(べつ)
言葉(ことば)が修飾(しゅうしよく)する場
合(あひあひ)もあるよ。



5 兄が本をわたしにくた。

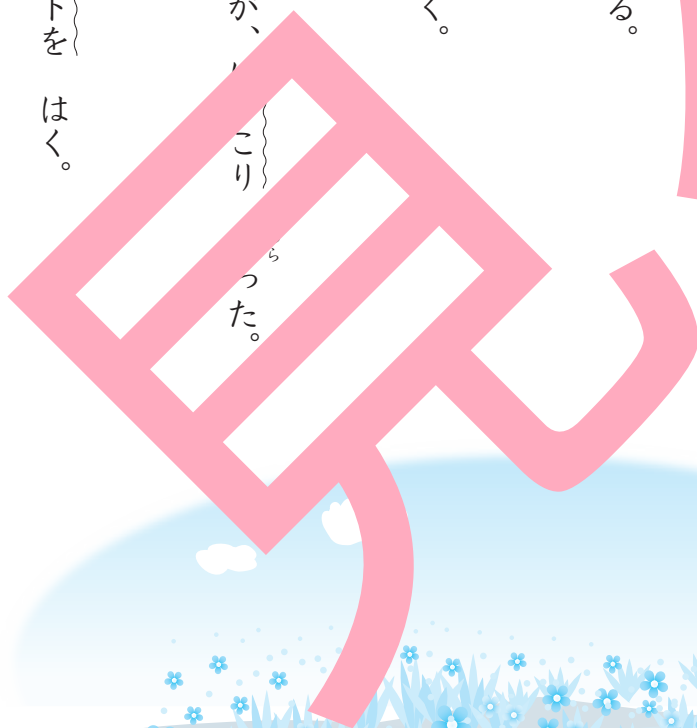
6 美しい花が面にく。

7 川が、おだやかに流れる。

8 空一面に星がきらきらかがやく。

9 赤い服を着たかわいい女の子が、こりった。

10 妹がお気に入りの水玉のスカートをはく。





四 つなぐ言葉

雨がやんだ。だから、空はまだ

おや、どこがおかし

「雨がやんだ」と「空はまだ

まくつなぐため、

雨がやんだ。けれども、空はまだ暗い

としたらどうでしょうか。意味のつながりが分

かりやすくなりました。

弟は転んだので、泣かなかった。

これもつながりがおかしいですね。

「転んだ」と「泣かなかった」がうまくつ

ながって

弟は転んだが、泣かなかった。

としたら、どうでしょうか。意味が分かりや

くありませんね。



右の文の、「だから」「けれども」のように、前後二つの文をつなぐ言葉は、「ので」「が」のように、二つの文をつなぐ言葉として一つの文にしているものがあります。



(一) 意味の通る正しい文にするに
どの言葉を使ったらよいでしょう。よいもの一つを○で囲みましよう。

1 春になった。

だから、
しまし、
つまり、
ふく風
冷たい。

2 頭がいたい。

つら
ところ
なかも

3 頭がいたい。

だ
けれども、
ま
は見学する。

4 雨はげしくふってきた

の
で、
の
に、
今日の運

5 一位をとろうと思って、がんばって走った

か
れど
で、
三位

6 今日の夕食はカレーにしようか。

けれども、
それとも、
そして、
オム





文と文をつなぐ言葉は、前の文と後の文をつなぎ、関係をよりさせる働きをもっています。

ア 前の文と反対のことをのべる
ウ 前の文につけ加える

イ どちらか一方を選ぶ
エ 前の文の結果をのべる

(二) 次の二つの文は、どのようなにつかっているでしょうか。

の中から選んで、記号で答えましょう。

1 弟はとても生意気だ。しかし、とてもかわいかった。
()

2 風がはげしくふりやがてきた。そのうち雨まみれになってきた。
()

3 旅行の行き先は山にしようか。でも海にしようか。
()

4 ぼくは、がんばってなわとびの練習をした。だから、二重とびができた。こうになった。
()



(三) 次の書きかけの文の続きを下に書き、線で結びましょう。

1 おいしそうなケーキだったが、

• ぼくは、急いで家に帰った。

2 五時のサイレンが鳴ったので、

• むし歯がいたくて食べられなかった。

3 もうじき三月になるから、

• 走って学校にアタタかくなった。

4 日曜日には、スケートに行こうか。それとも、

• 絵が残っている。

5 初め^{はじ}のうちは寒かった。けれども、

• 絵画を見ることがある。

6 展望台^{てんぼう}に登った。すると、

• 大きな山も見えました。

7 今日は、庭の草取りをした。それに、

• 青い海が見えた。



(四) 次の()に当てはまる言葉を、
の中から選んで書き入れましょう。

1 のどがかわいた。()
、なかもすいた。

2 ジュースを飲もう。()
、牛にゆうを飲もうかな。

3 雨がやんだ。()
、かかった。

4 あの選手は金メダル
った。()、世界一の選手。

それとも
すると
つまり
それに

(五) ()の中に入る文と文をつなぐ言葉を考え、
に入れましょう。

1 おじいさんは、耳が遠くなってきました。
、人の声がよく聞こえません。

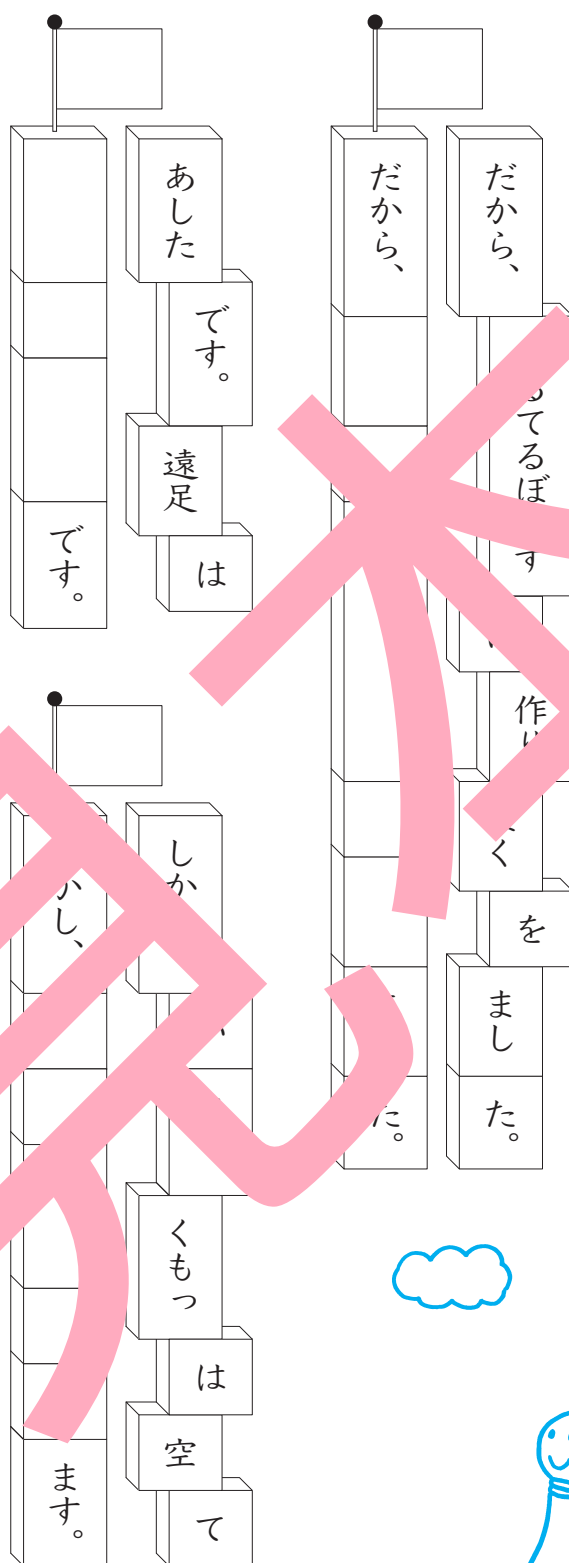
2 わたしは、新しいくつをもらいました。()
、足の足にはちよつときゆうくつでした。

3 山下さんは、水泳が得意だ。()
、絵を描くのも上手だ。



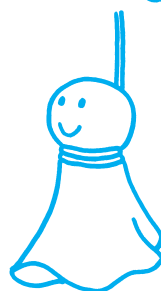
(六) ①積み木の言葉をならべかえ 一つの文にしましょう。

②できた三つの文をならべかえ、意味の通じる文章にしましょう。
ならびかえの順じよを、積み木の言葉で書きましょう。



積み木のような言葉が集まって、意味のわかる一つの文にしましょう。で終わったとき、そのまとまりを文といいます。

そうしてできた文が、「しかし」「だから」などの言葉で結ばれていて、意味の通じるまとまりになったものを文章といいます。





五 じゆく語の意味

(一) 次の漢字と意味がにている漢字を、

- 「着席」「席順」のように、二以上の漢字を組み合わせでできた言葉を、じゆく語といいます。たとえば「熱湯」というじゆく語の字一つ一つの意味を考えてみると、「熱」は「熱い」という意味を、「湯」は「熱いお湯」だということになります。じゆく語の意味を考えるとよいでしょう。じゆく語の意味を表す漢字を組み合わせでできたもの。意味が対になる漢字を組み合わせでできたもの。上の漢字が下の漢字の意味をくわえて説明しているもの。上の漢字が動作や作用を、下の漢字が「く」を「乗る」という意味でくわえて説明しているもの。上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているもの。
- 「寒冷」(寒いと冷たい)
「強弱」(強いと弱い)
「熱湯」(熱いお湯)
「乗馬」(馬に乗る)
「無色」(色が無い)

| | |
|----|---|
| 6 | 1 |
| 決 | 思 |
| 7 | 2 |
| 救 | 学 |
| 8 | 3 |
| 同 | 競 |
| 9 | 4 |
| 集 | 分 |
| 10 | 5 |
| 生 | 通 |

助考定等争習服合行産



(二) 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせ、じゆく語を作りましょう。

| | |
|---------|--------|
| 6
天 | 1
大 |
| 7
売 | 2
姉 |
| 8
門 | 3
 |
| 9
終 | 4
内 |
| 10
苦 | 5
勝 |

(三) 次のじゆく語の漢字の組み合わせの中からさがして、番号で答えましょう。

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1
投球 () | 2
道路 () | 3
前後 () |
| 4
不安 () | 5
直線 () | 6
身体 () |
| 7
点火 () | 8
黒板 () | 高低 () |
| 10
未来 () | 11
父母 () | 12
金 () |
| 13
登山 () | 14
願望 () | 15
不満 () |

- ① いた意味
- ② 意味が対になる
- ③ 下をくわしく説明
- ④ 下が上の動作や作用の対象
- ⑤ 上が下を打ち消す



(四) 次の二つの漢字を組み合わせ
 ましょう。
 じゆく語を作りましょう。また、読み方を（ ）の中に書き

1 古い巢^す ↓

()

2 形が変わ^かる ↓

()

3 兄と弟 ↓

()

4 体の温度 ↓

()

5 岩と石 ↓

()

6 足り^{たり}ない ↓

()

(五) () から漢字をえらんで、じゆく語を作りまし

1

()

作

()

()

2

()

説

()

3

()

果

()

(品 ・ 工 ・ 文)

(明 ・ 伝^{でん} ・ 小)

(成^{せい} ・ 実 ・ 結^{けつ})



から当てはまるもの
選、表に記号で書きましょう。

味

組み合わせ

父母

③ 上が下
く説明

⑤ 上が下を打ち消す





六 百人一首に親しもう

百人一首は「小倉百人一首」

短歌は、五・七・五・七・七

たくさんの人によまれます。本語の美しさやリズムを感じ取ることができます。
みなさんも、いろいろな

(一) 次の百人一首の音の区切りを――

で分けて、声に出してよんでみましょう。

1 夏の夜はまだよひながら明けぬるを雲

づこい月やど

ま

2 ちはやぶる神代も聞かずたつた川から

なひく

は

3 ふくからに秋の草木のしをるればむべ山風をあ

といふらむ



(二) 次の百人一首の上の句と下の句を調べてつなげましょう。

(ア) 田子の浦に うち出でて見ね

白

・ただ有明の 月ぞ残れる

(イ) ほととぎす 鳴き

方なれば

・富士の高嶺に 雪は降りつつ

(ウ) 君がため 春の野に出て

まつむ

・秋は悲しき

(エ) 奥山に 紅葉踏み分け

鳴く鹿の

・雪は降りつつ

(オ) 久方の 光のどけき 春の日に

・香に

(カ) 天の原 ふりさけ見れば 春日なる

・影のさやけさ

(キ) 人はいさ 心も知らず 古里は

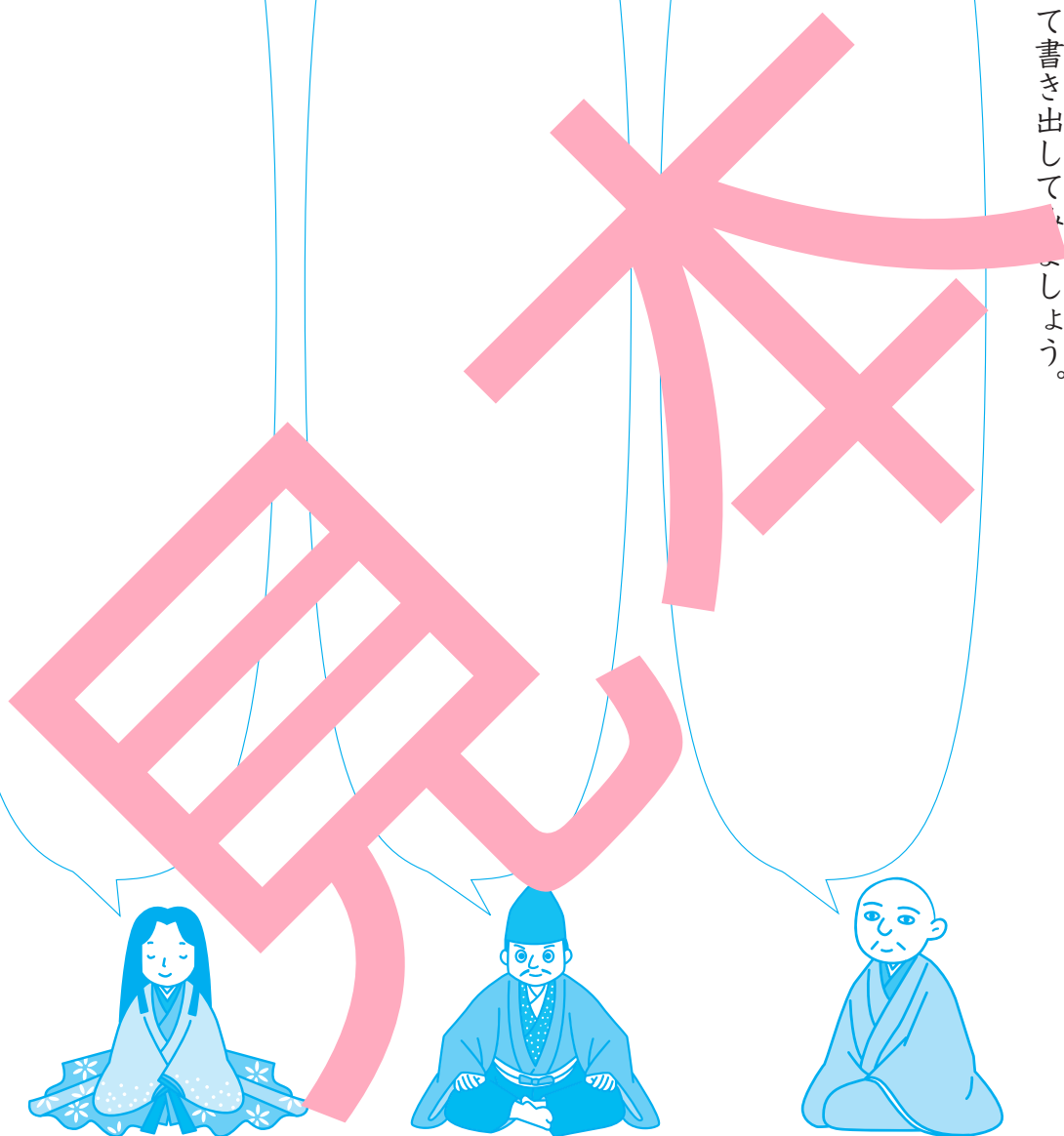
・花のちるらむ

(ク) 秋風に たなびく雲の 絶え間より

・三笠の山に 出でし月かも



(三) 百人一首を調べて書き出してきましょう。



見てみよう



NHK for School
おはなしのくにクラシック
「百人一首」



ちびおすドリル
「百人一首」
学習ポスター



七 同じ読み方の漢字



次の「かわ」「じんこう」

1 「かわ」

りんごのかわた
かわをわたる。

2 「じんこう」

日本のじんこうは
愛知用水は
一億をこえている。

言葉を漢字で書きましょう。

このように、読み方が同じでも、
正しく使い分けをしましょう。

(一) 次の(一)に漢字を書きましょう。

1 た・つ

波が()つ。
ビルが()つ。

3 か・わる

だんだん色が()わる。
父に()わって、ぼくが行く。

5 はじ・めて

()めて百メートル泳いだ。
日記を()めて三年たった。

2 の

人気()
の持ち主に()る。

4 かえ・

の持ち主に()る。
るさとに()る。

6 る

席()ける。
夜が()ける。
戸を()ける。

やってみよう



「同じ読み方の漢字」



(二) それぞれのかたかなの言葉を、の意味をよく考えて線で結びましょう。

1 今日の算数は、シヨウスウの強^{つよ}いところだ。
・ 少数

シヨウスウ意見^{いけん}をしっかり聞^ききました。
・ 小数

2 コウガイで多くの人が使^{つか}います。
・ 公害

今日は、コウガイ学習^{がくしゅう}の日です。
・ 校外

3 わたしは、かん境問題^{きやうもんだい}にカンシン^{かんしん}しています。
・ 関心

ごみを進んで拾^{ひろ}っている人にカンシン^{かんしん}した。
・ 速い

4 兄は足がハヤイ。
・ 速

楽しい時が過ぎるのはハヤイ。
・ 速

読み方は同じでも、意味がちがう言葉には、漢字一文^{いちぶん}のものでもなく、二つ以上の漢字が組み合わさってできた言葉（じゅく語）にもあります。文の前後の文脈ををよく考えて使うことが大切です。



(三) 同じ読み方をする漢字をたくさん集めてみましょう。



(し)

(例)

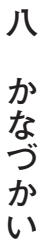
(気)

(と)

(かい)

()





ふつうは「じず」をい
ます

二つの語が組み合わさって生じた「ぢ」は、そのまま「ぢ」「づ」と書きます。

例
はなぢ
(鼻血)
きづく
(気付く)

同じ音が二回続くこと
なされた「ぢ」「づ」も、
「づ」と書きます。

例
服がちぢむ。

(一) かなづかいの正しい方を○で囲みまし

地震しん

ち
し
ん

2 湯飲み茶わん

ゆの
わん

3
そこ
から

4
—
人

づつ

5
雨が

ふりつづく。

今日は

しづかだ。

7
本を

かたづける。
かたずける。

8
春が

近づく。 近づく。

9
石に

つまづく。
つまずく。



○ 長^{だん}くのばす音はア段は「あ」をつけて書きます。ただし、^い以外は、「い」と書きます。

オ段例^{だんれい}外

とお^い お^み とお^り (通り) ほ^お おお^き い とお^十
 こお^り (氷) おお^い (い) こお^ろぎ そのとお^り ほお^ずき

(二) かなづかいの正しい方を囲みましょう。

1 王子
 おお^じ おう^じ

2 通^る
 とお^る とう^る

3 おお^い

4 こお^ろぎ こう^ろぎ

5 わたし^の
 ね^ん ね^い

(三) 次の文の中からかなづかいのまちがいを五つさがして×をつけ、正しいように正しく書き直しましょう。

ぢめんの みづたまりに おうきな みかずきが うつつていることに きずいた。



見てみよう
 NHK for School
 ことばドリル
 「かなづかいのルール」



九 文末の言い方 ぶんまつ

(一) 次の文はどのような意味か、始始 結結 しよう。

あの薬はにがい。

• 見たり聞いたりして「たぶん、にがい」と思っている。

• 「きつとにがい」と思っている。

• 「もし「たぶん、にがいのではないか。」と思っている。

• あの薬はにがいそうだ。

• 「たぶん、にがい」と思っている。



ぶんまつ 文末の言い方によって、話し手や書き手がどのような気持ちで話しているか、読み手に伝わりま

話を聞いたり文を読んだりするとき、また、自分が話したとき、注意をし、正しく理かいたり、表げんしたりできるようにしよう。



十 伝わりやすい文

(一) 次の文を漢字を使って書き直してみよう。そして書き直す前の文章と読みくらべてみましょう。

ー はははははじょうぶだ。

()

漢字には、ことばの意味

に、文を読みやすくする働きもあります。

(二) 次の文は、二通りの意味に読み取ることができます。漢字を使って、書き直してみよう。

ー くるまでまとう。

()

()

2 わたしはいしやになりたい。

()

()

漢字を使うことで、文の意味を正しく伝えることができます。



5 次の言葉をキーボードで入力するとき、_____の部分はどうに入力しますか。ローマ字の大文字で書きましょう。

① こづつみ

② メロン

③ ちきゅう

KO_____TSUMI

MERO_____

_____KYUU

④ ふぶき

⑤ しか

⑥ こうじちゅう

_____BUKI

_____KA

KOUJI_____

⑦ らっぱ

⑧ おとうま

⑨ じゅうじょ

RA_____

O_____SAM

_____SHO

6 次の文をキーボードで入力するとき、どのように入力しますか。ローマ字の大文字で書きましょう。

① とも はい。

② 母の はい はい はい。

③ きのう 発表会 はい はい はい。



練習してみよう



プレイグラムタイピング
「タイピング練習」



3 次のローマ字の読み方が同じものを二つ^{えら}選んで、○をつけましょう。

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ① | usi | uchi | ushi | uni |
| ② | tuki | suki | shiki | tsuki |
| ③ | matti | michi | mati | machi |
| ④ | futa | huta | una | kuma |
| ⑤ | inkan | jikan | inkan | inkan |



コンピュータで文を書くときは、キーボードを使い、
キーボードでローマ字入力を行うとき、習ったローマ字の読み方
とちがうところがあり

4 次のキーボードで入力されたローマ字の言葉の読み方を、ひらがな
で書きましょう。

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| ① usoku | ② iannken | ③ hanadi |
| または usoku | または iannken | |
| () | () | () |
| ④ kataduke | ⑤ kiwotsukeru | ⑥ jouro |
| | または kiwotukeru | |
| () | () | () |
| ⑦ midika | ⑧ tsuduku | ⑨ ojiisann |
| | または tuduku | |
| () | () | () |



11 ローマ字の書き方

1 次のローマ字で書かれた言葉の読み方を、ひらがなで書きましょう。

① inu

()

② kitte

()

③ anpan

()

④ rappa

()

⑤ bōshi

()

⑥ chokin

()

⑦ hyakuen

()

⑧ gakkō

()

⑨ shōshi

()

2 次の言葉をローマ字で書きましょう。

① マッチ

② ブラン

③ せん

④ おれさん

⑤ きっぷ

⑥ ひこうき

⑦ キャベツ

⑧ パンや

左のローマ字表を見て、正しく書く練習をしましょう。

| | (大文字) | だん
ア段 | だん
イ段 | だん
ウ段 | だん
エ段 | だん
オ段 | (ヤ) | (ユ) | (ヨ) |
|-------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|-----|
| (大文字) | | A | I | U | E | O | | | |
| ア行 | | a | i | u | e | o | | | |
| カ行 | K | k | | | | | | | |
| サ行 | S | s | | | | | | | |
| タ行 | T | t | c | | | | c | c | c |
| ナ行 | N | n | | | | | | | |
| ハ行 | H | h | | f | | | | | |
| マ行 | M | m | | | | | | | |
| ヤ行 | Y | | | | | | | | |
| ラ行 | L | r | | | | | | | |
| ワ行 | W | w | | | | | | | |
| ン | N | n | | | | | | | |
| ガ行 | G | g | | | | | | | |
| ザ行 | Z | z | j | | | | j | j | j |
| ダ行 | D | d | j | z | | | j | j | j |
| バ行 | B | b | | | | | | | |
| パ行 | P | p | | | | | | | |



Rōmaji no hyō

| | | ア段
A | イ段
I | ウ段
U | エ段
E | オ段
O | (ヤ) | (ユ) | (ヨ) |
|----|---|---------|---------------------|---------------------|---------|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| ア行 | | a | i | u | e | o | | | |
| カ行 | K | ka | ki | ku | ke | ko | kya | kyu | kyo |
| サ行 | S | sa | shi | su | se | so | sha | shu | sho |
| タ行 | T | ta | ^(si) chi | ^(tu) tsu | te | to | ^(sya) cha | ^(syu) chu | ^(syo) cho |
| ナ行 | N | na | ^(ti) ni | ^(tu) nu | ne | no | ^(tyo) nya | ^(tyu) nyu | ^(tyo) nyo |
| ハ行 | H | ha | hi | fu | he | ho | hya | hyu | hyo |
| マ行 | M | ma | mi | ^(hu) mu | me | mo | mya | myu | myo |
| ヤ行 | Y | ya | | yu | | yo | | | |
| ラ行 | R | ra | ri | ru | re | ro | rya | ryu | ryo |
| ワ行 | W | wa | | | | ^(o) | | | |
| ン | N | | | | | | | | |
| ガ行 | G | ga | gi | gu | ge | go | gya | gyu | gyo |
| ザ行 | Z | za | ji | zu | ze | zo | ^(zya) ja | ^(zyu) ju | ^(zyo) jo |
| ダ行 | D | da | ^(ji) | ^(du) | de | do | ^(zya) ja | ^(zyu) ju | ^(zyo) jo |
| バ行 | B | ba | bi | bu | be | bo | bya | byu | byo |
| パ行 | P | pa | pi | pu | pe | po | pya | pyu | pyo |

※〔 〕内は訓令式の表記です。

令和8年版 ことばのきまり 4年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 合資会社永田印刷所

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





| |
|----|
| 名前 |
| 年 |
| 組 |

木見